

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより

2020.9.15

第52号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

ドローンによる空撮「ドローン飛行講習会」

9月6日（日）旧小山田小学校グラウンドを会場に、矢巾の㈱コハタから講師をお招きし「ドローン講習会」を開催しました。地域内の若い人を中心に11名の参加を頂き、大空の飛行を楽しみました。最初は操縦に戸惑ったものの、時間が経つにつれ操縦にも慣れたほか、天候にも恵まれ100m上空を飛ばした方や上空からの小山田の風景を見て楽しんだ方もいました。また、農業用ドローンの実演飛行もあり、関心を持たれていました。



「自分だけのお茶わんづくり教室」上手に出来たよ！

7月30日（木）ハンドメイド交流事業「自分だけのお茶わん作り教室」を開催しました。講師に大迫在住の伊藤里奈氏をお招きし、23名が参加しました。白地のお茶わんに、お花や動物、乗り物、ボール・バットなど自分の好きな転写シールを貼り、自分だけのお茶わんを作りました。細かな作業で最初は大変でしたが、徐々に作業に慣れ上手に行っていました。出来上がった作品を見て、皆さん満足気でした。参加者からは、「楽しかった。またやりたい。」との感想がありました。



地域に伝わる亡き人への供養の風習「供養絵額」

きぬかわカレッジ歴史講座「供養絵額を学ぶ」を開催しました。8月25日（火）は座学、9月1日（火）は総勢13名の参加を頂き、東和町内の寺院3か所を巡りました。供養絵額は遠野市・花巻市に多く分布し、花巻市では東和町が多い事や描写も地域性が有り、絵には願いや希望が込められているそうです。昔と今に形の違いはあるものの、先祖を敬い、大切にするという思いに変わりはないのかもしれません。供養絵額に触れ、そこに込められた願いの意味を知ることができ、心に残る講座となりました。



土沢「信泉寺」の供養絵額

【供養絵額とは】

故人の姿を色鮮やかな「板絵」に描写し、葬儀後に遺影を寺の本堂に掛けた。この風習は寺の受け入れ中止や撤去等により衰退し、現在花巻市内には約80点ほどが確認されており、東和町においては47点といわれています。北川目「龍澤寺」に納められている「供養絵額」は文久2年（1862年）製作で花巻市内で最も古いものとされています。



北川目「龍澤寺」の供養絵額

発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
ホームページ：<http://www.asuno-oyamada.jp>
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

地域の皆様に親しまれた施設が閉店を迎えます



地域の皆様に親しまれた「Aコープ小山田店舗」が9月25日午後1時をもって閉店となります。昭和40年9月に土沢・小山田・中内・谷内の4農協が合併し東和町農業協同組合が発足し、昭和47年12月に「Aコープ小山田店舗」が開店しま

した。今日までの48年余り、地域の皆様を始め多くの方々にご利用頂きました。



新型コロナウイルス感染防止のため下記の事業が中止となります

岩手県内でもコロナウイルス感染症が確認されて感染が広がっております。地域の皆様の安全安心のため、今年度開催予定しておりました下記の事業について各専門部会で検討した結果、残念ながら中止とさせていただきます。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し事業が再開できる事を祈っております。

- きぬかわカレッジ「神楽の世界」、「スマホ教室」
- にこにこサロン
- ママカフェrainbow「クッキング教室」
- 後継者育成郷土芸能発表会（新入生を祝う会等含む）

※スキー・スノーボード教室は今後の状況を確認しながら検討してまいります。

令和2年8月末現在

小山田の人口	世帯数	男(人)	女(人)	計(人)	比較(7月末)
第1行政区	62	97	77	174	5人減
第2行政区	149	212	210	422	2人減
第3行政区	159	228	242	470	1人増
第4行政区	112	188	183	371	1人減
計	482	725	712	1,437	7人減

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



政治家の資質を考える

明日の小山田を考える会
会長 菊池 保守

8月28日 安倍総理が突然辞任した。病気が理由なようであるが、政治家の進退は直前まで明らかにしない、が、信条のようである。安倍長期政権の功罪については新聞等で報道されているところであるが、これまで目まぐるしく総理大臣が変わる我が国にとって、久しぶりに諸外国首脳と涉り合った総理大臣であり、国際的に日本の総理大臣として認知された一人であると思う。

一方で、森友、加計学園、桜を見る会に代表されるように国民にわかる説明をしてこなかったのも事実である。国民と政治家の感覚に開きがあったように思う。



様々な組織においても中にどっぷりと浸かっていると感覚がマヒすることがある。政治家にとって、致命傷なのは選挙における買収や利権がらみの贈収賄であろう。最近の例では、河合夫妻の公職選挙法の買収事件、秋元司衆議院議員の統合型リゾート施設汚職事件である。

このように、政治家と金をめぐる事件は残念ながら絶えることはないように思う。

ずっと以前に、政治家の資質について伺うことができた。

ある人は、3つの資質を言った。それは、清新であること。謙虚であること。上から可愛がられる(多分これは派閥のボスから可愛がられることのこと)であること。

もう一人の人は、平気でうそをつけること。平気で人をだますことができる人。と言われた。さらに、ある国会議員の方は、いやなことは、他人の口から言わせるに限る、と。いずれの方々も政治家としての矜持をお持ちで大変立派な方々であると尊敬している。今はすでに他界されているが、これまで様々なご教示をいただいたことに感謝申し上げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げる次第である。

～ 編集後記 ～

稲穂も黄金色に色づき、いよいよ収穫の時期を迎えました。皆様方、作柄はいかがでしょう？。わが家の田んぼの稲は先日的大雨で倒伏してしまいました(^-^;) (菊池)

